

## こんな時には漢方薬を！

花粉症で抗アレルギー剤を内服しています。時々眼が充血したり、鼻がつまって呼吸が苦しくなります。点眼薬や点鼻薬を使うと一瞬良くなるのですが、長い時間効いてくれません。

漢方薬の処方

- ①越婢加朮湯(えびかじつとう)
  - ②桂枝湯(けいしとう)／麻杏甘石湯(まきょうかんせきとう)
  - ③麻黄湯(まおうとう)あるいは葛根湯(かっこんとう)
- ①、②、③のどれも頓服的な使い方です。  
数日使用して調子が良ければ、すぐに中止します。  
ダラダラと長期的に飲む薬ではありません。



体がだるくて食欲がない、仕事、家事、育児の疲れがとれない。  
カゼが治ったのに体がシャキッとしない。

漢方薬の処方

- ①補中益気湯(ほちゅうえきとう) ⇒(漢方エキス剤の栄養ドリンク)
- ②十全大補湯(じゅうぜんたいぼとう)  
⇒(①よりもへばっている、疲れきっている、ope 後)

子供の世話をしているイライラ、夫のことでイライラ、知らないうちに  
ずっとイライラするようになって治りません。  
心療内科に行くこともないのですが…。

漢方薬の処方

- ①抑肝散(よくかんさん)
- ②甘麦大棗湯(かんばくたいそうとう)  
⇒(少しヒステリックになっていたらコチラ)



最近、夜間・明け方にトイレで起きることが多くなりました。尿もれも  
時々起こります。目もかすみ、疲れもとれにくくなっています。  
サプリメントを飲んでも元気になりません。

漢方薬の処方

- ①八味地黄丸(はちみじおうがん)  
⇒(若返りの薬です。30～40歳から老化は始まっています。)
- ②牛車腎気丸(ごしゃじんきがん) ⇒(手足のしびれを伴う時はコチラ)

## 花粉症の話

3月中旬から花粉症の患者さんが増えました。  
例年発症する人、今年初めて症状が出た人とさまざまです。  
症状は軽症から重症の方までいます。  
今年は皮膚炎を起こしている人が多く見られます。  
顔、首が真っ赤になって腫れ上がっています。  
内服薬だけでなく、洗顔、スキンケアも必要となります。



## お知らせ

### 小児夜間急病センター当番日

4月12日(木) 19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院にて

### 休診日のお知らせ

4月6日(金)、7日(土)は休診します。

### なかしまこども健康セミナー

4月21日(土)13:30～ クリニック外来にて  
内容:「楽しい漢方外来の実際」

今回の健康セミナーは実際に漢方外来の現場で使われる漢方薬のお話をさせていただく予定です。  
参加は無料ですので、是非ご参加ください。